



ニッサン ムラーノ

専用シートカバー取付説明書

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして、誠に有難うございます。

- * 説明書内にシートカバーの取付・取り扱い・返品等に関する注意事項等が記載されていますので、装着前に必ずお読み下さい。
- * 本書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため製品とデザインは異なります。

0512

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付けられています。仮合わせの時点で製品に何らかの支障があった場合は、お買上げ頂いた販売店、または当社までご連絡ください。
事前に連絡がなく装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。またお客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせて頂きますので予めご了承ください。
- 本製品は梱包時にシワが入る場合があります。ある程度は正常に取付けをおこなうことで生地が伸び
シワは解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定穴やバックテーブル等）を損なわないように製造されていますので、背もたれや座面に穴加工されているタイプのシートカバーがあります。
- 万が一ご注文された商品と違う、不良品、配送中の破損等、ございましたらご連絡ください。速やかに商品を交換もしくは修理対応させて頂きます。
※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間を頂く事があります。
- 箱の多少の破損、商品の細かい傷、シワ等は不具合対象外とさせて頂きます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。
また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ開閉部分に、SRSサイドエアバッグ対応用の縫製糸を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）
その部分は他の部位に比べて縫製糸が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようご注意ください。また、シートカバーを正しく取付けないと衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず重大な傷害に及ぶか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。
※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準がないため自社独自の対応規格となります。

本製品に関する注意事項

- 本革やシーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや、本革側に粘着が生じことがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てられると、表面のツヤ変化・変形・変色の原因となります。また、高温、多湿のところに放置されると硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着されてから約1~2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用していますので、燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 当社のシートカバーはフィッティングを重視して製造しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張り過ぎると抜けたり、切れる恐れがありますのでご注意ください。
- シートカバー(スエードタイプ・本革パンチングタイプ・ECTクラッソ・アルカンターラセレクション)の背もたれ上部に加工されているヘッドレストの穴は生地が伸びにくいため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着して頂くと、作業がスムーズに進みますので、当社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らな広いスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態(扉を開放されたまま)にされますと、バッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- フィッティング性を重視した当社のシートカバーを取付けた後、元に戻した際(シートカバーを取り外した際)にシート自体にシワが残る場合があります。予めご了承ください。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。
その際はご迷惑をお掛けしますが当社までお問い合わせください。
- 当社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないよう製造していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。予めご了承ください。
- 取り付け時(シート本体のパーツを取り外す場合等)及び、使用時におきた車輛への損傷、車輛の不具合、人体への怪我(シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります)について、当社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、取付けを行ってください。
またいかなる場合でも商品代金、送料を保証の上限とし、それ以外の保証はできませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換取付け、取付け取り外し等の工賃、取付け等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負わないものとします。

「快適カーライフ空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

シートカバー取付補助ビニール使用方法

背もたれ部分の取り付けの際、シート本体とシートカバーの摩擦によりスムーズに入らない場合があります。

その場合、付属のビニールを下記の手順で使用していただくと取り付けが容易になります。

※ベーシックシリーズには取り付け補助ビニールは付属しておりません。



①背もたれカバーを取り付ける前に補助ビニールを被せます。補助ビニールは後で取り外すのでカッター等で両サイドに切込みを入れて取り外し易いようにしておきます。



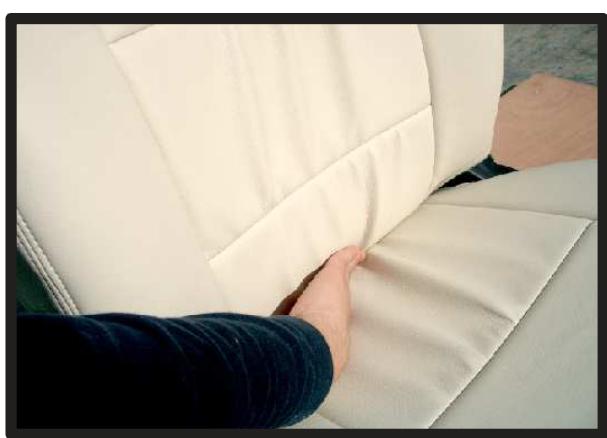
②背もたれのカバーをシートのラインに合わせながら被せます。肩口部分にたるみがなくなるまでしっかりと入れ込んで下さい。



③シートカバーをしっかりと入れ込むことができたら、ビニールを引っ張り取り外します。



④ヘッドレストの台座部分を穴から取り出します。生地のひびを利用して横からもぐりこますように取り出して下さい。無理に入れると破れる恐れがありますのでご注意下さい。



⑤背もたれの曲線にたるみなくカバーを密着させながらマジックテープ部を背面と座面の間にに入れ込みます。

(車種により取付方法が異なります。)



⑥入れ込んだ部分を取り出しマジックテープで固定します。

1列目座面



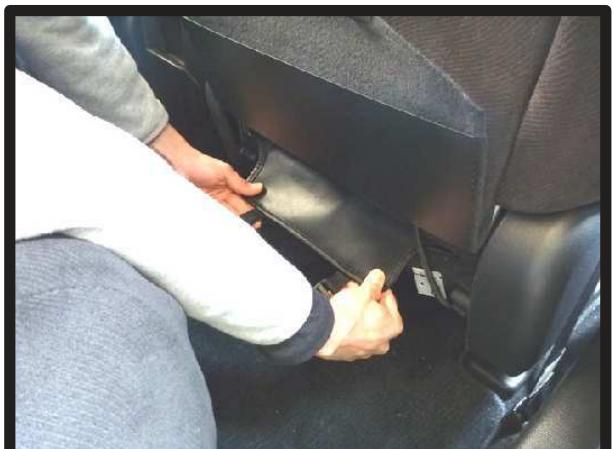
①始めに背もたれ背面下から座面裏で固定されているカバーを外します。カバーは座面裏の金属部分にフックで固定されています。



④背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して入れ込みやすい位置で行って下さい。



②カバーを裏返してシートのラインに合わせます。



⑤シート背面から入れ込んだ生地を引き出します。



③シートのラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。



⑥シート外側側面部分です。プラスチック部に生地を入れ込みます。ヘラ等を使用しますと作業が行いやすくなります。



⑦シートの内側側面部分です。カバー側面に付いているゴムに付属のS字フックを取り付けます。



⑧シート裏の図です。ゴムは図の赤丸部分の隙間に通して、シート裏の金属部分に引っ掛け固定します。固定が出来たら、シートを前後にゆっくりスライドさせ、シートの動作にゴムが干渉していないか確認して下さい。



⑨シート内側側面は図のようになります。



⑩カバー前方にベルトが付いています。



⑪ベルトはシート裏を通し、シート背面へ回します。この際、図の矢印部分のリクライニングレバー、運転席のみ金属バーの上を通すようにして下さい。

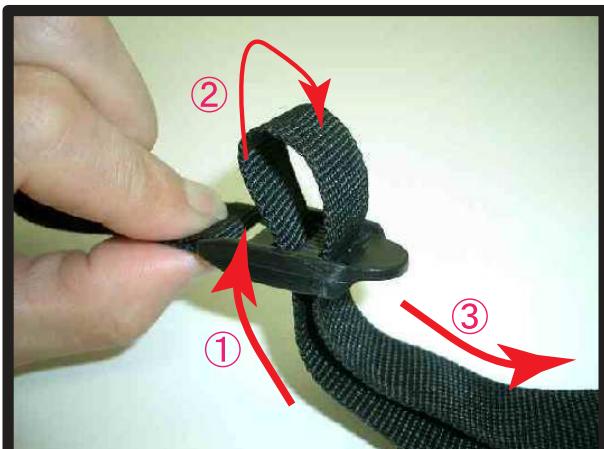


⑫ベルトをシート背面から引き出します。

1列目座面続き



⑬ベルトは1ページの⑤で引き出した生地に付いているバックルと固定します。



⑭①～③の順番にベルトをバックルに通してベルトを引くと、カバーの前後が引き絞り固定されます。

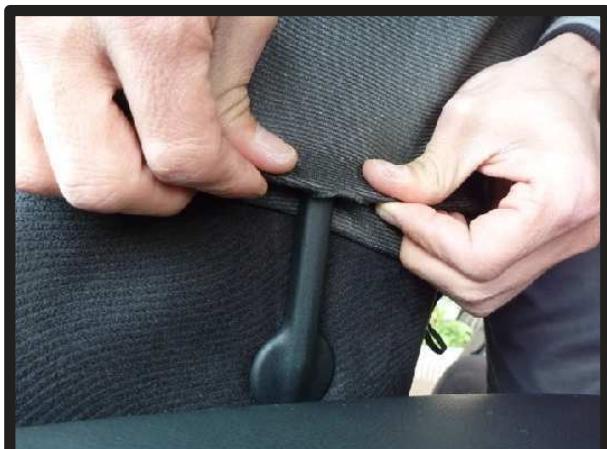


⑮カバーのラインを整えて、1列目座面の完成です。
助手席側も同様に取り付けます。

1列目背もたれ



①カバーを半分ほど裏返して、シートのラインに合わせてかぶせます。この際、背もたれの先端まで生地が張るようにかぶせて下さい。



②運転席側シートの内側側面にあるランバーサポートのレバーを、カバーの加工穴に通します。



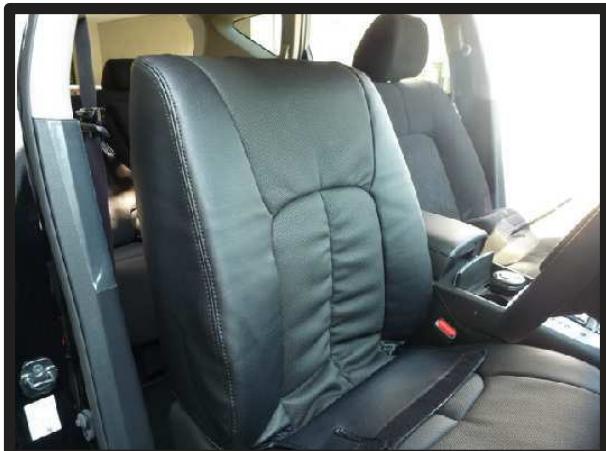
③加工穴は小さめに開けていますので生地の伸びを利用して、レバーを取り出します。



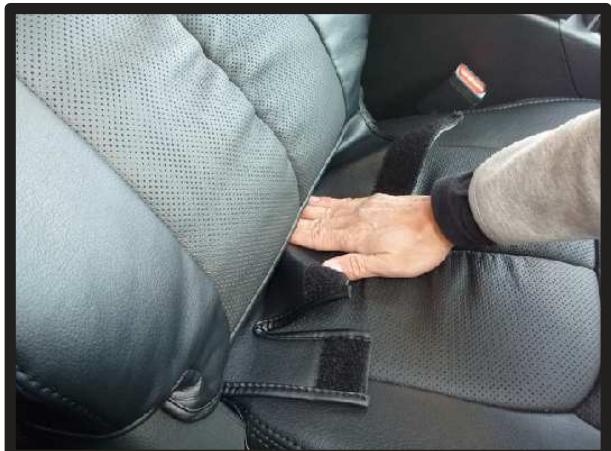
④1ページの①で外した背面下のカバーは、めくり上げてカバーの中へ入れ込んで下さい。



⑦生地の伸びを利用して台座を取り出します。



⑤シートのラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。



⑧背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑥ヘッドレストの台座をカバーの加工穴から取り出します。台座のフチに生地をしっかりと入れ込みます。



⑨①～③の手順で側面のシワをシート中央に寄せて、そのまま下になぞるようにカバーをシートに馴染ませていきます。シート側面のシワがなくなるまで続けて下さい。

1列目背もたれ続き



⑩ 4ページの⑦で入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。この際矢印部分の配線をかわして生地を引き出して下さい。



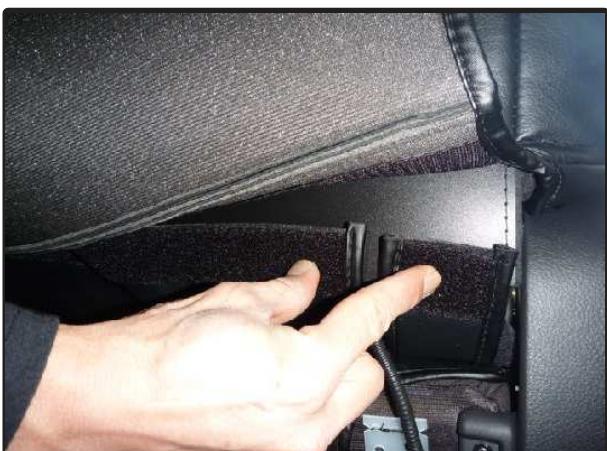
⑬ シート背面下(ポケットの下)の生地にゴムが付いています。ゴムに付属のS字フックを取り付けます。



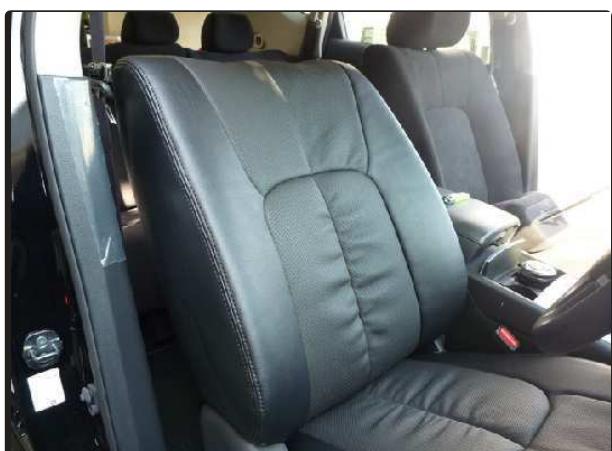
⑪ シート側面下のくぼみに生地を入れ込みます。



⑭ S字フックはシート裏の金属部分に引っ掛け固定します。



⑫ 4ページの⑨で引き出した生地とシート背面下の生地をマジックテープで固定します。

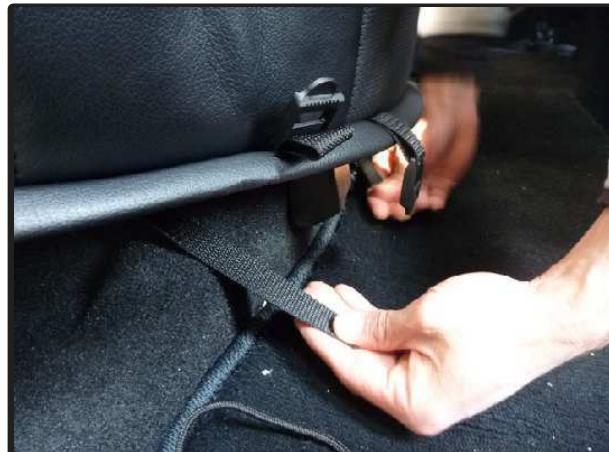


⑮ カバーのラインを整えて、1列目背もたれの完成です。
助手席側は一部形状が違いますが同様に取り付けます。

2列目座面



①カバーを裏返してシートのラインに合わせます。



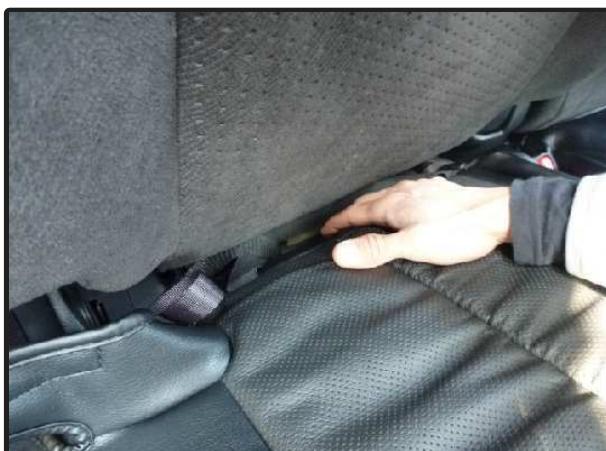
④入れ込んだベルトをシート前方から引き出します。



②シートのラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。



⑤シート外側のヒンジ部分に生地を巻き付けてマジックテープで固定します。



③背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。シートを少し前に倒すと隙間が出来ます。入れ込む生地に付いているベルトも隙間へ入れ込みシート裏から前方へ引き出します。



⑥ヒンジ部分を固定した図です。

2列目座面続き



⑦6ページの④で引き出したベルトをカバー前方のバックルと固定します。



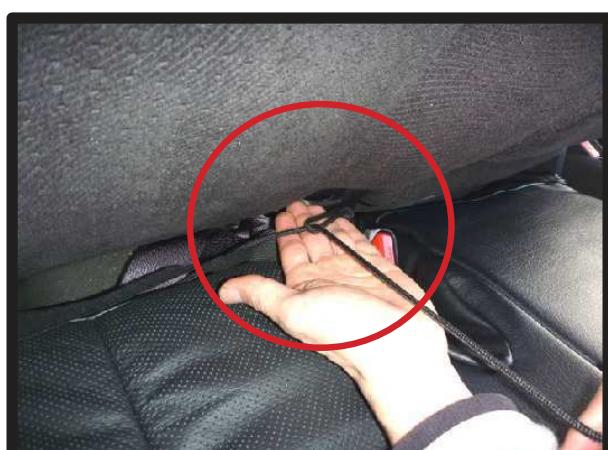
⑩座面裏でヒモを結び留めた図です。



⑧カバーの両側面からヒモが出ています。



⑪シートベルトバックルの付け根に生地を入れ込みます。



⑨ヒモは座面裏を通して結び留めます。片方のヒモで輪を作り、もう片方のヒモをその輪に通して絞り込んで結び留めます。※図は分かりやすいようにヒモを表に出しています。実際は座面裏で結び留めます。

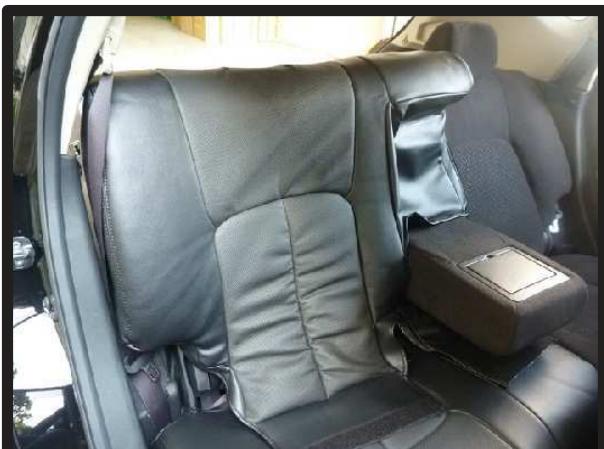


⑫カバーのラインを整えて、2列目座面の完成です。
助手席側は形状は異なりますが、同様に取り付けます。

2列目背もたれ



①シート背面のファスナーを開け、シートにカバーをかぶせていきます。アームレストを斜めにしカバーの加工穴から取り出します。



②シートのラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。



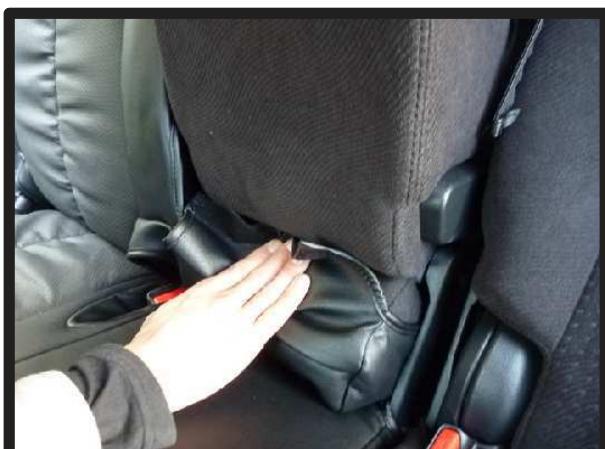
④入れ込んだ生地は矢印部分の金属バーの上を通します。金属バーを巻き込まないようにご注意下さい。



⑤背もたれ下、アームレスト下、共に入れ込んだ生地を引き出します。



③背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑥アームレスト付け根部分に生地を入れ込みます。

2列目背もたれ続き



⑦8ページの⑥で入れ込んだ生地をアームレストを倒して引き出します。



⑩シート背面のファスナーを閉じます。生地をうちへ寄せながら慎重に閉じて下さい。



⑧引き出した生地をマジックテープで固定します。



⑪8ページの⑤で引き出した生地とシート背面下の生地をマジックテープで固定します。



⑨ヘッドレストの台座を取り出します。



⑫シート背面の図です。矢印部分の切り込みはシートを起こした際、シワがよることを防ぐためのものです。

ヘッドレスト



⑬図のヒンジ部分に生地を入れ込みます。



①ヘッドレストカバーは平らなプラスチック部品が付いている方が前になります。

1列目ヘッドレストです。カバーを半分ほど裏返して、ヘッドレストのラインに合わせてかぶせます。



⑭カバーのラインを整えて、2列目背もたれの完成です。
助手席側は形状は異なりますが、同様に取り付けます。



②カバーをヘッドレスト全体にかぶせていきます。カバーは非常にタイトに出来ていますので、図のようにヘッドレストを押し潰しながら慎重にかぶせて下さい。



③カバーをヘッドレスト全体にかぶせた図です。

ヘッドレスト続き



④シートからヘッドレストを外し、ヘッドレスト裏でプラスチックフックで固定します。



⑦ヘッドレストをシートに戻して1列目ヘッドレストの完成です。
2列目両サイドのヘッドレストも同様に取り付けます。



⑤プラスチックフックの固定方法はカギ状のフックに平らな方のプラスチックを生地と共ににはめ込み固定します。



⑧2列目中央ヘッドレストです。2列目中央ヘッドレストはヘッドレスト前方下にカバー引っ掛け、矢印方向へかぶせていきます。



⑥ヘッドレスト裏は図のようになります。



⑨ヘッドレスト全体にカバーをかぶせます。

2列目アームレスト



⑩ヘッドレストをシートから外し、ヘッドレスト裏でプラスチックフックで固定します。



①カバーを半分ほど裏返して、アームレストを斜めに倒してかぶせます。この際アームレストの先端の生地が張るまで、しっかりとかぶせて下さい。



⑪ヘッドレスト裏は図のようになります。



②アームレストの付け根部分から生地を入れ込みます。生地が入れ込みにくい場合は、図の手の位置を支点としてアームレストを倒す、起こすを繰り返すと生地が入り込んでいきます。



⑫ヘッドレストをシートに戻して、2列目中央ヘッドレストの完成です。



③入れ込んだ生地をアームレストを倒して引き出します。

2列目アームレスト続き



④ 12ページの③で引き出した生地をヘッドレストと同様にプラスチックフックで固定します。



⑤ ドリンクホルダーのフチに生地を入れ込みます。ヘラ等を使用すると作業が行いやすくなります。

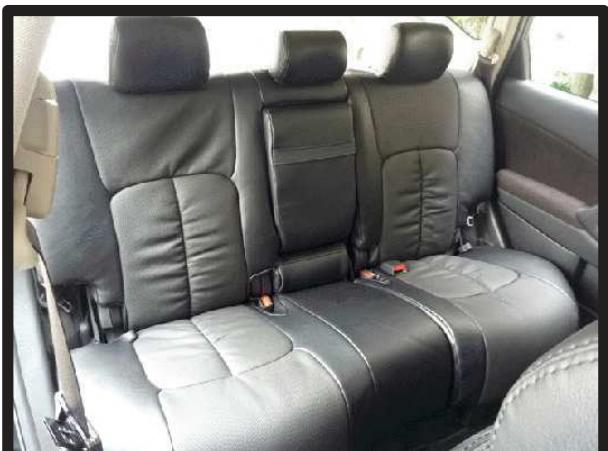


⑥ 2列目アームレストの完成です。

完成図



1列目



2列目



2列目・アームレスト使用時



After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 1年間保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1** 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。

クラッソ キルティングタイプ・プロス クラッソ
プロスクラッソ タイプ2は対象外です。



- 2** シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。



- 3** シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メーター単位での販売となります)
クラッソ キルティングタイプは対象外です。

パーツ交換の際、お客様の製品の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

クラッソイオシートカバーを永くお使い頂くための、生地別シートカバーのお手入れ方法

アルカンターラ・スエード

● ホコリや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。



● 全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯にしみこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

このお手入れは月一回くらいの頻度で行うと効果的です。

本革パンチング・ECTの本革部分

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。

クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてから(クリーナーの説明書に従ってください)、また使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。

万が一変色したり風合いが変わってしまった場合、元には戻りません。

⚠ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合にはすぐにふき取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくと汚れやシミが取れなくなってしまいます。表面に積もったほこりは汚れの原因になります。掃除機でこまめに吸い取ってください。



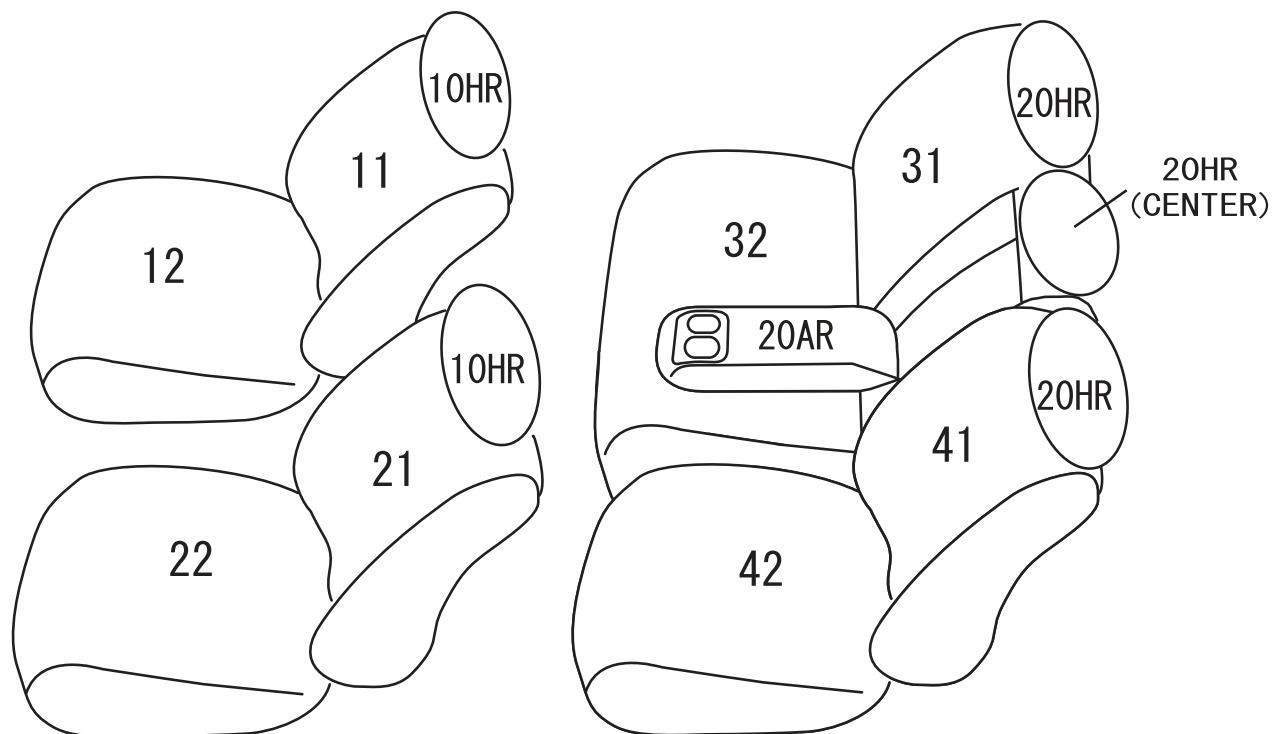
PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

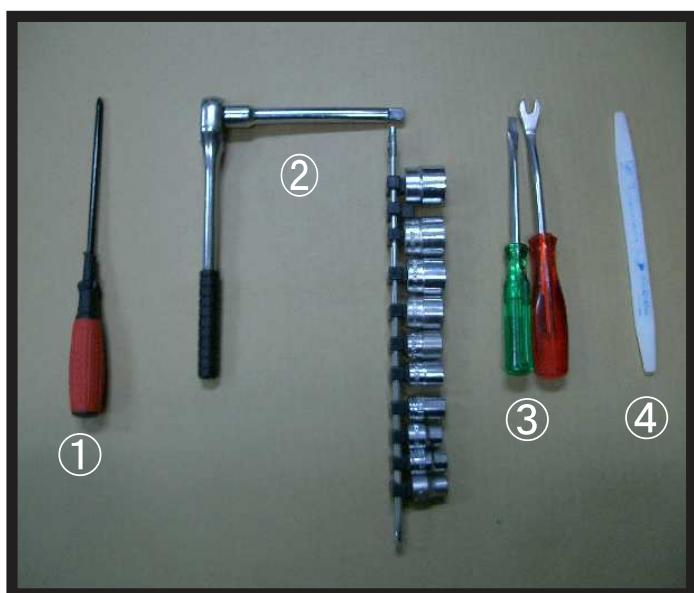
それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いたウエス(布)で乾拭きしてください。



本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



工具名

- ①+ドライバー
- ②ソケットレンチセット
- ③ードライバーまたは内張り外し
- ④ヘラ

*この車種では、④の工具を使用します。

*この車種では、①、②、③の工具は使用しません。